

目標達成計画

作成日：平成23年9月2日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	苦情に限らず、より多様な意見を聞けるよう、独自のアンケート用紙を作成するなど、さらなる働きかけや取り組みが必要	意見や要望が話しやすい、しやすい環境を作っていく。	アンケート用紙の変更。記入しやすいような項目内用にする。ご家族が面会に来られたときは、可能な限り、腰をすえてじっくり話を聴く機会をもつようにする。	6ヶ月
2	24	センター方式のアセスメントについては、職員や家族がその目的や必要性を理解していないと記入しにくいものなので、家族には無理のない範囲でお願いしてはどうか。	全スタッフ、ご家族がセンター方式の必要性を理解できるようになる。	入居前、担当者会議、アセスメント時等、ご家族にセンター方式、ケアプランの必要性を説明していく。同時にスタッフにも利用者への聞き取り方、ニーズの引き出し方の勉強会、また聞き取りの時間を十分設けてゆく。	6ヶ月
3	26	利用者本人は実際にそれぞれが役割を持って生活されている。今後はさらに、ICFの視点で本人のニーズや課題を捉えながら、より一層本人らしい実現できるための介護計画作成に取り組むことを期待したい。	本人の意向を十分に取込んだ介護計画作成する。	アセスメント時、それぞれの社員の聞き取り方、ニーズの引き出し方の勉強会を行い、個々の社員のスキルアップを計ってゆく。	6ヶ月
4	4	運営推進会議を活かした取り組み、会議は2ヶ月に1回行っているが、マンネリ化した議題内容となり意見も少なくなっている	積極的に意見交換ができるようにする。	会議前には、早めに議題を決め推進委員に通知する。また、議題に対し、意見がやすいよう一人ひとり投げ掛けてみる。	6ヶ月
5	33	現在職員の定着とケアの質の向上がみられる中で、改めて諸君全体・関係機関等と「看取り」について話し合い最後までホームでの生活を希望する利用者への対応を検討してはどうか。	更なる職員のスキルアップ、関係機関との強化連携。	・現状でホームとして、また関係医療機関が、どこまで対応できるか整理し明確にする。 ・ご家族の意向をしっかりと把握し、ホームの方針を共有してゆく。	6ヶ月
6	36	家庭的な雰囲気の中では、油断すると、個人やプライバシーの尊重がおろそかになってしまうことがある。	個人、プライバシー保護について確実に理解してもらう。	プライバシー保護マニュアルの見直しと研修の実施。	6ヶ月